

会員各位

協会だよりー261(9月号)

JCRA(Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

トピックス：

- 第222回月例会（見学会）
見学日：9月8日（月）12時30分～20時00分
見学先：首都圏外郭放水路（埼玉県春日部市上金崎720）
備考：集合場所・国際フォーラム前、時間12時30分まで
- 第223回月例会（一泊研修会）
開催日：10月3日（金）～4日（土）一泊二日
見学先：三菱マテリアル㈱直島製錬所（香川県直島町）
集合地：JR岡山駅西口（10：35までに集合）
備考：参加・・・48名（宿泊46名）予定



夕やみ迫る江の島

©Takashi Matsuda

- 一．協会よりのお知らせ
【実施済事項】
【予定事項】
- 二．首都圏外郭放水路の見学注意事項(9/8)
- 三．事務局より（九月度の予定）
- 四．【雑字】笈の小文編(3) ～芭蕉が憧れた吉野山の桜を愛でる～（伊賀から吉野へ）

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① 協会だよりー260 (8月号) をメール&郵便で送信 (8/1)
- ② 第30回JSCRA会（協会コンペ）開催のご案内 (8/7)
- ③ 第223回月例会（一泊研修会）の幹事会

日時：平成26年8月21日（木）16：00～17：00

場所：協会事務所（ニュー新橋ビル601-A）にて

幹事：三菱マテリアル㈱、ヘレウス㈱、石福金属興業㈱、日本無機化学工業㈱の4社

- ④ 第223回月例会 (一泊研修会) 参加の会員へ参加費請求書の発送 (8/29)
振込期限: 9月30日 (火) までお願いします。

【予定事項】

- ① 第222回月例会 (見学会)
見学日: 9月8日 (月) 12時30分~20時00分
見学先: 首都圏外郭放水路 (埼玉県春日部市上金崎720)
備考: 集合時間 12:30、集合場所 東京国際フォーラム前 (JR有楽町近し)
- ② 第三回運営委員会
日時: 平成26年9月18日 (木) 16時~17時
場所: 堺化学工業株東京支店会議室
議題: 第222回月例会纏め、第223回月例会の準備等

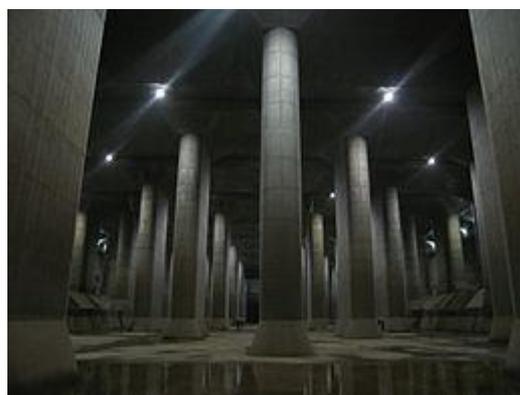
2. 首都圏外郭放水路の見学注意事項(9/8)

調圧水槽 (首都圏外郭放水路) ⇒

※地下調圧水槽の見学に関する注意事項

- (1) 上り階段が116段 (ビル5~6階程度) あります (エレベーターはありません)
(2) ヒール・サンダルでの見学はできません
(3) スニーカーや運動靴でお出てください。
(4) 普段着にてお願いいたします。

詳細については江戸川河川事務所ホームページでご確認ください。



<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/edogawa00539.html>

(5) 天候による水量増が見込まれる場合は調圧水槽の見学が出来ませんが協会としては一部の施設見学及び懇親会は開催いたしますのでご出席ください (幹事会より)。

3. 事務局より (9月度の予定)

月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6
○	○	×	×	○	×
8	9	10	11	12	13
222月例会	○	×	×	○	×
15	16	17	18	19	20
敬老の日	○	×	運営委員会	×	×
22	23	24	25	26	27
○	春分の日	×	×	○	×
29	30	10/1	10/2	10/3	10/4
×	○	○	×	一泊研修会	

9月度の出勤予定: 11日間

4. 【雑学】笈の小文編(3) ～芭蕉が憧れた吉野山の桜を愛でる～ (伊賀から吉野へ)

二日目は吉野山一色で無事終了。明日三日目はまた奈良県吉野郡吉野町に戻ります。

《龍門の滝》奈良県吉野郡吉野町山口

龍門の滝(吉野川の支流にあたる)へ行く道の角が津風呂湖北口のバス停となっています。

ここは吉野町平尾、バス折り返し場の隅に芭蕉さんの句碑があります。



ここから龍門の滝までおよそ30分とされていますが、私たちのバスは折返しのできるギリギリの所まで入ってくれました。

龍門：吉野の龍門岳の麓にある滝。歌枕。

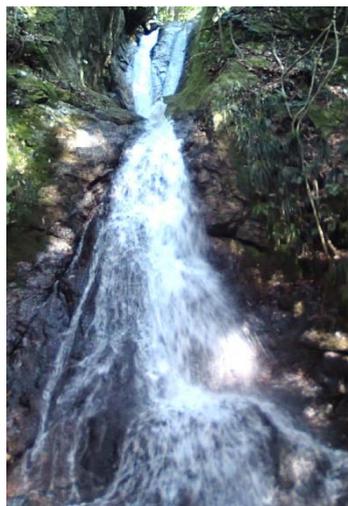
中国の名勝に同じ名の龍門の滝。ここに芭蕉さんは惹かれています。

大和国草尾村にて

花の陰謀はなに似たる旅ねかな

草尾村は平尾村の誤り。吉野郡吉野町平尾である。

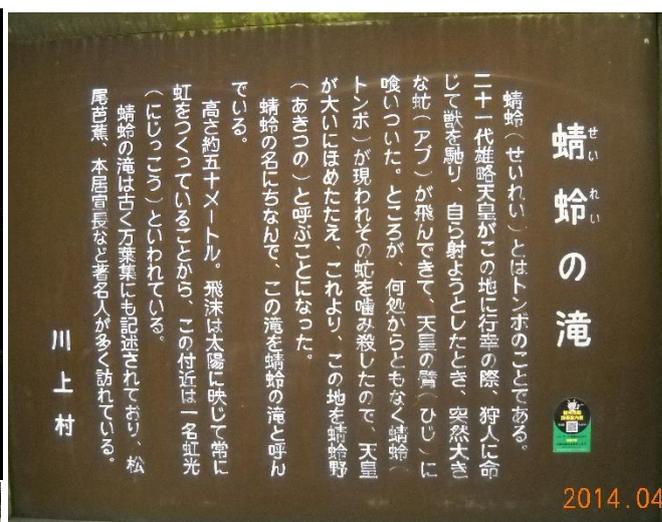
杜国を伴っての芳野紀行は、芭蕉も日ごろに似ず気持ちが浮き立って居るさまが見受けられる



両句とも酒を愛し、滝を愛した李白にちなんで詠んだもの。(上野洋三編 笈の小文・更科紀行・嵯峨日記 P29 和泉書院(2008)参照)

竜門の花や上戸の土産にせん
酒のみに語らんかゝる滝の花

《蜻蛉の滝》奈良県吉野郡川上村西河



蜻蛉の滝は第21代雄略天皇の時代から知られた伝説の滝

で、落差50mの二段の滝です。

滝見台から近すぎて、滝口から滝壺まで一枚の写真には納まりきれません。そのため縦に長く3枚の写真を並べてみました。

1枚目は滝口から、2枚目は二段目の小さな滝壺から下の滝壺へ、三枚目はテラスよりらせん階段で降りる下の滝見台を写しました。

落差では華厳の滝や那智の滝に負けるかも知れませんが、近接して鑑賞でき、落差、水量、音とも名瀑の一つに違いありません。

笈の小文の本文には記録されていませんが前後の文章から見ると、芭蕉さんと杜国もここに立ち寄ったようです。

滝の鑑賞が終わると、昼食タイム。吉野川側にある平宗で焼き鮎寿司・柿葉寿司の昼食となりました。



《本善寺》奈良県吉野郡吉野町飯貝

本善寺の本堂は国登録の有形文化財となっています。最初の本堂は織田信長の命を受けた筒井順慶に攻められ天正六年焼失、現在の本堂は寛文年間(1661~1672)の再建と伝わる初期の真宗寺院の様式を随所に遺した、堅実にして上品な意匠の本堂です。(寺の説明版より)



- 本善寺境内にある芭蕉さんの句碑と真宗(一向宗)中興の祖・蓮如上人像



吉野を下るとき
飯貝や雨に泊まりて田螺さく
(存疑句)
弘中孝(石に刻まれた芭蕉の編者)
によれば存在が疑問視されている句
である。

さて話は前後しますが、龍門の滝鑑賞後、元庄屋といわれる平尾の上田家を訪問しました。旧屋の庭には芭蕉さんの句碑が建立されています。上田氏によると芭蕉さんと杜国が上田家に泊まったと言われるがその証拠は残っていないそうです。多分泊まっていないかもと。



花の陰謀うたひに似たる旅ねかな

さて笈の小文本文には躰峠 多武峯(たふのみね)より龍門へ越道也 雲雀より空にやすらふ峠佳かなとありますが、現在の明記は細峠、ここに芭蕉さんの句碑が建立されています。吉野町より

2014/08/29

新国道のトンネルを抜け、そこから左折して旧国道に入り、吉野町へ戻るように山道を上がってゆきます。旧国道のトンネル手前には山道ともいえる細峠へ行く江戸時代からの街道入り口が。大高先生によると30分ぐらいで峠だよという言葉信じて登ることにしました。途中ギブアップを覚悟して小森さんに峠の句碑の写真をお願いしましたが、殿ながらなんとか自力で登り詰めました。

写真では平坦な道に見えますが、かなりの急傾斜です。ここから上はさらに悪路になります。



雲雀より空にやすらふ峠佳かな

《談山神社》 奈良県桜井市多武峰

中大兄皇子と中臣（後の藤原）鎌足が日本の将来について語り合ったといわれる談（かたらい）山がすぐ後ろにあり、その頂上には大化の改新の談合の碑が有るそう。また十三重塔（重文）は鎌足の死後、亡骸をここ多武峰に移して建てられたお墓で687年に完成しました。しかし戦火で焼け落ち、現在の十三重塔は1532年の再建です。再建してから500年も経っているのですね。



今回の観光はここで終了、土産に桜まんじゅうを買い求め、バスは一路名古屋駅へと向かいます。一時間ほど駅構内の飲み屋で反省会、20時の「のぞみ」で帰京となりました。

(文責：小林尚道)